

＜校務利用＞ ①ループリック作成のたたき台の生成

【生成AI使用モデル】

ChatGPT4o（Open AI）、Gemini（Google）

【概要】

本校の今年度の研究では、「各教科におけるループリックの作成と活用」を掲げています。通常ループリックをゼロベースから作成するとかなりの時間がかかりますが、生成AIを活用して、教科書の内容や授業で行うアクティビティなどをプロンプトとして入力し、評価基準のたたき台を生成しています。その後、生成されたたたき台を基に、教員が細かい修正を加え、最終的なループリックを作成して、生徒と共有しています。

評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	エネルギー変換の仕組みやエネルギー資源の特徴、電気や力の伝達の仕組みについて、具体的な例を挙げながらわかりやすく説明できる。また、実験や観察を正確に行い、データを活用して結論を導き出せる。	エネルギー変換や力の利用について、複数の視点から解決策を考え、それを根拠を持ってわかりやすく伝えることができる。	調べ学習や実験に積極的に取り組み、自分の考えを仲間と共有し、協力して課題解決に向けて行動することができる。
B	エネルギー変換の仕組みやエネルギー資源、電気や力の伝達の基本的な仕組みについて、大まかに説明することができる。実験や観察の記録が一部不十分な点があるが、基本的な理解ができています。	課題について1つの解決策を考え、その内容を簡単にまとめて伝えることができる。	指示された内容を遂行し、最低限の協力で活動に参加することができるが、積極性に欠ける場合がある。

あなたは、優秀な中学校技術分野の教員です。

写真は技術分野の教科書(開隆堂)、題材名：Cエネルギー変換の技術（1-1.生活や社会とエネルギー変換、1-2.エネルギー資源の利用）のところです。

この題材のループリックを以下の条件で作成したい。

###条件

- ・中学校2年生対象
- ・3時間扱い
- ・評価項目は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3項目で、評価はA,Bの2段階
- ・ループリックの文言は、生徒と共有するので、生徒が前向きに取り組めるような具体的で分かりやすい文言とする。

【成果と課題】

生成AI活用により、ゼロから作成する場合と比べて大幅に時間を短縮でき、教員の負担軽減につながっています。一方で、生成AIの出力をそのまま活用することは難しく、教員が必ず修正・調整を行う必要があるという課題もあります。また、教科や授業内容によって適切なプロンプトを工夫する必要があり、出力精度の向上が求められています。今後は、プロンプトの最適化を図り、より精度の高い評価基準のたたき台を作成できるようにするとともに、他校との共有を通じて、より実用的なループリック作成のノウハウを確立していく予定です。